

授業科目名・形態	人間の理解Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 博章	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

介護は深い人間理解に基づいた信頼関係のうえに成り立つものである。本講は、対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識について、講義と演習を通じて習得することを目的とする。人間の理解Ⅰの「人間の尊厳と自立」で学習したことを引き継ぎながら、人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を実践面から学ぶ。

【到達目標】

- 1) 関係作りのための人間について、人間の認知世界の違いから確認できる。
- 2) 人間関係の形成について、人間の発達過程から確認できる。
- 3) 人間関係を形成するために必要なコミュニケーションの意義と機能について、組織との関係から確認できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 人間と人間関係①（人間らしさのはじまり、自分と他者の理解に向けて）
- 第3回 人間と人間関係②（自分と他者の理解）
- 第4回 人間と人間関係③（発達心理学からみた人間関係）
- 第5回 人間と人間関係④（社会心理学からみた人間関係①）
- 第6回 人間と人間関係⑤（社会心理学からみた人間関係②）
- 第7回 人間と人間関係⑥（人間関係とストレス）
- 第8回 対人関係におけるコミュニケーション①（コミュニケーションの概念と基本構造）
- 第9回 対人関係におけるコミュニケーション②（コミュニケーションの手段）
- 第10回 対人関係とコミュニケーション①（対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション）
- 第11回 対人関係とコミュニケーション②（対人援助における基本的態度）
- 第12回 対人関係とコミュニケーション③（援助的人間関係の形成とバイスティックの7つの原則）
- 第13回 組織におけるコミュニケーション①（組織の条件とコミュニケーションの特徴、組織における情報の流れ）
- 第14回 組織におけるコミュニケーション②（組織において求められるコミュニケーション）
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義と演習で行う。

【授業準備】

- ①受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを「授業前に一度は読んでくること」
- ②余裕のある学生は教科書の該当ページにおけるわからない語句などを「専門書や辞典などを用いて調べておくこと」

【主な関連する科目】

介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ、社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論、障害者福祉論、日常生活支援技術演習Ⅰ、ソーシャルワーク論Ⅰ など

【教科書等】

最新 介護福祉士養成講座Ⅰ 人間の理解（第2版）、中央法規、2022.

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業・演習への参加態度（主体的な授業参加度を重視する）10%、提出課題・レポート30%、定期試験60%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域包括支援センターや障害者就労支援施設、障害者グループホームでの支援の実践の経験からクライアントの人権や尊厳について理解し、「人間とは何か」「支援とは何か」を考察していきたい。

【学生へのメッセージ】

利用者との信頼関係構築のためにはどのような視点が必要かを良く考えながら予習・復習し、介護実践のために必要となる人間の理解を深めてください。